

認知症患者を取り巻く状況は短期間に大きく変化しています。先日、認知症の新薬の説明会に参加する機会があり、会場には大勢の開業医が参加し非常に盛況でした。今後、認知症の治療は開業医レベルでもさらに積極的に行われるようになるであろうと感じた説明会でした。

今月号の企画では、レビー小体型認知症を発見し、世界でも知られる小阪憲司先生に認知症全般の正しい理解について述べていただくことができました。諏訪先生には看護の視点から日常生活上の留意点などについて細やかに述べていただきました。理学療法士の山上先生には運動効果に着目して理学療法を実施する上での要点について、名古屋先生には大腿骨頸部骨折患者について、村井先生には介護老人保健施設入所者について述べていただきました。理学療法士の先生方が、軽度ばかりでなく重度認知症患者にも真摯に取り組んでいるのが良く分かります。

認知症の理学療法がその効果を発揮すべき点は、①軽度認知症患者への運動効果をさらに示していくこと、②廃用により認知症が出現した患者の症状を軽減すること、③重度認知症患者の運動機能低下の経過を把握し対策を講じること、この3点だと思います。①と②は近年、介護予防や臨床の場で理学療法士が積極的に取り組んでいます。③に関しては未だに十分に力を発揮していないのが実情です。認知症が進行すれば、四肢の運動機能障害が進み、最終的には食事摂取困難となります。また、理学療法士が最も苦慮する時期は運動を促す際の運動方向に抵抗する筋緊張亢進、把握反射などがみられる時期です。このような運動機能低下の過程を長期的に捉え、どのように進行を遅らせるか…。ここは長期的に経過を把握することができる介護保険関連の施設や事業所に勤務する理学療法士が力を発揮する部分ではないでしょうか。

私が過去に勤務していた介護老人保健施設では、重度認知症の方に介護職員が自然体で関わり、温かい支援で効果を高めていました。認知症は脳の無数の神経細胞に起こり、それが無限大に絡み合うもので、出現する症状の把握が難しいのは当然のことかもしれません。しかし、難しいからこそ、人間としての基本的な部分を大切にしなければなりません。食事量、水分量、睡眠時間、排泄、入浴、適切な運動量…。そして、安心できる環境、優しい声かけ、スキンシップ…。人間として誰もが求めるものを理解し、理学療法を提供する以前に、人としての慈しみの心や優しさをどうか見失わないようにしてください。

(金谷さとみ)

理学療法ジャーナル

(第45巻 第10号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2011年10月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

(担当:阿部・川上・山崎)

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

2011年 年間購読料(税込み、配送料
弊社負担) 冊子のみ 20,880 円、冊
子+電子版 27,200 円、電子版/個人
20,880 円、電子版/共有 24,020 円

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail : ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

(五十音順, 以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
伊 川 忠 男
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 哲 夫
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里